

2016年(平成28年) 1月10日 日曜日 赤口 報知新聞 第48279号

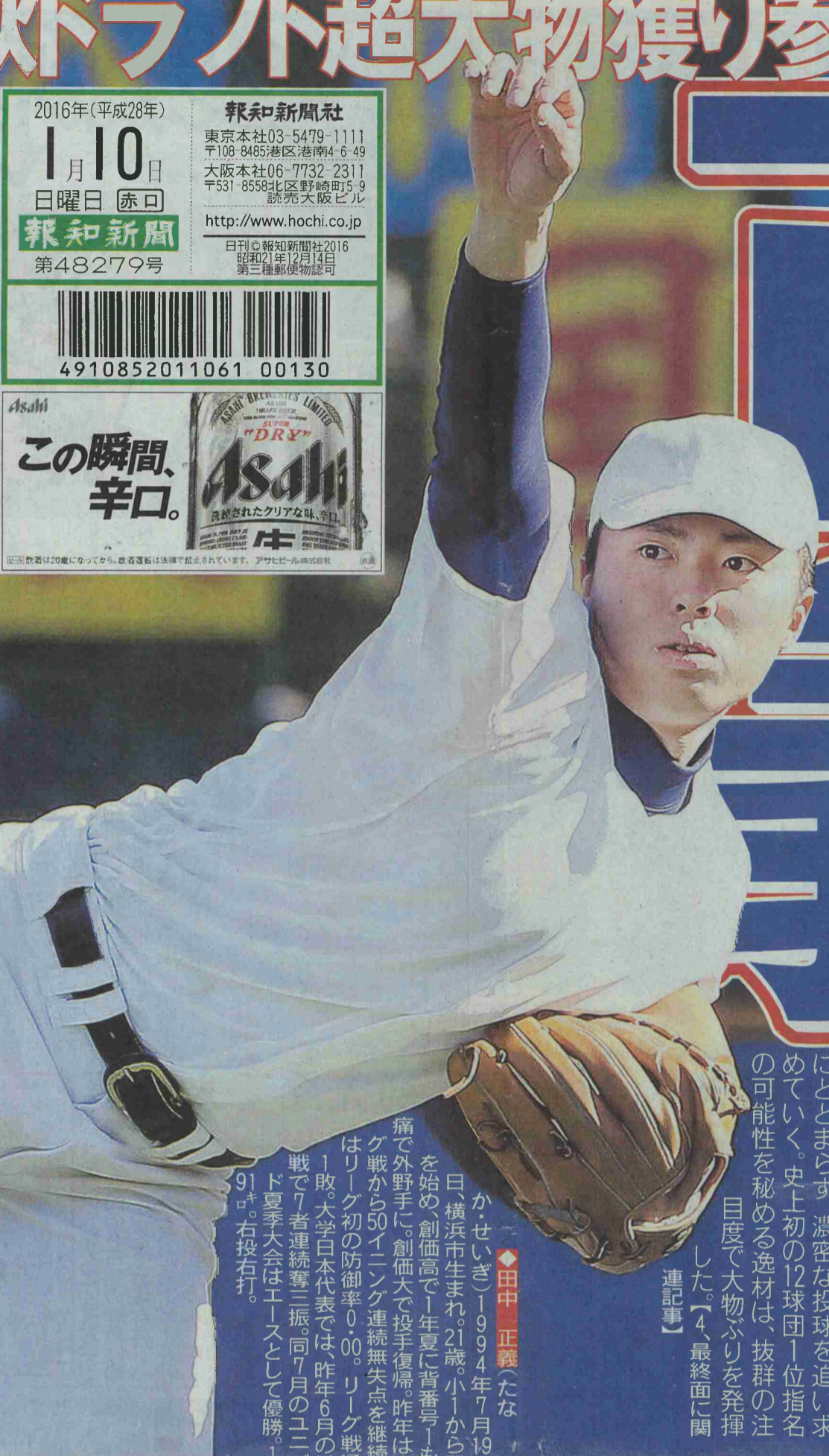


スカウト2人で熱視線

6球団以上8人

89野茂英雄 投・新日鉄堺 90小池秀郎 投・亜大

人が抽選に参加したのは、95年福留、07年大場(ともに外れ)の2度だけ。



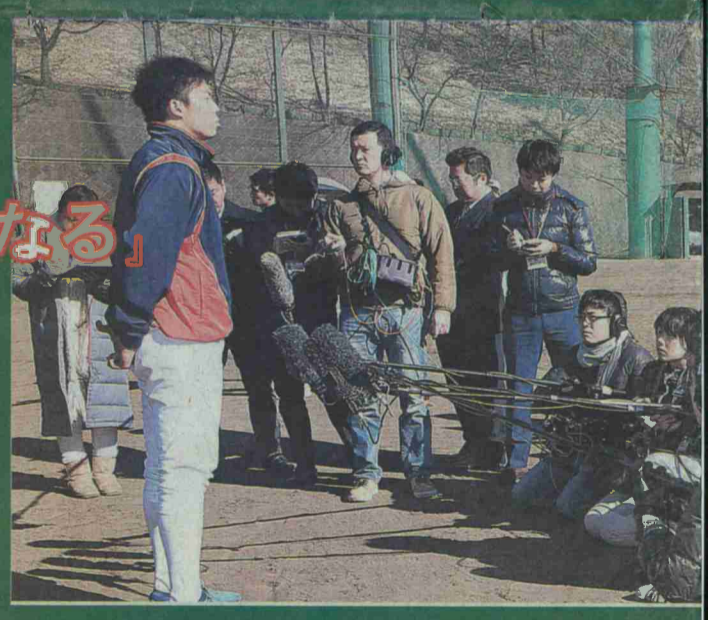
巨人 創価大 16年本格始動

16年本格始動

今秋ドラフト超目玉で最速156キロを誇る創価大の田中正義投手(3年)が9日、東京・八王子市内の同校グラウンドで本格始動した。巨人は山下哲治スカウト部長(62)が自ら視察に訪れるなど1位候補として密着マーク。国内合計8球団10人のスカウトが大集結した。巨人・沢村、菅野が持つ神宮学生最速157キロの更新にとどまらず、濃密な投球を追い求めていく。史上初の12球団1位指名の可能性を秘める逸材は、抜群の注目度で大物ぶりを発揮した。(4、最終面に関する記事)

◆田中正義(たなかせいぎ) 1994年7月19日、横浜市生まれ。21歳。小1から野球を始め、創価大で1年夏に背番号1も、右肩痛で外野手に。創価大で投手復帰。昨年は春のリーグ戦から50イニング連続無失点を継続して、秋はリーグ初の防壁率0.00。リーグ戦通算15勝1敗。大学日本代表では、昨年6月のNPB選抜戦で7者連続奪三振。同7月のユニバーシアード夏季大会はエースとして優勝。186センチ、91キロ。右投右打。

8球団集結「意識しないとウソになる」



全国ネットは「やばいです」

慣れない光景の連続に不思議な感覚が湧いてきた。渡された色紙に「大学日本一」と目標をしたためると、テレビカメラ6台を含む19社約50人の視線が全身に集まった。「注目を乗り越えないとプロでやっていけない。今から経験できるのはプラス。でもこれ、全国ネットはやばいです」と、思わず苦笑いを浮かべた。

いよいよ迎えたチームの始動日は、キャッチボールや坂道ダッシュなどで汗を流した。その姿に国内8球団10人のスカウトが熱視線を送り、「意識しないとウソになる」と本音を漏らした。すでに日本ハム、楽天は1位指名を公言。特に巨人は、山下スカウト部長と吉武スカウトがそろって視察。日本ハムも2人体制という熱の入れようだ。「右の本格派でストリートで三振が取れる。上原(浩治)以来の大物投手じゃないかな」と同部長。大卒1年目に20勝投手部門のタイトルを総ナメにし、現在はメジャー、Rソ

下町ロケット ロケ地から飛躍

昨年の秋季リーグ戦は6登板で6勝0敗、新記録の防壁率0.00をマークするなどブレイク。そんな右腕の今年のチームは「庄倒」だ。グラウンドと同じ敷地内に建つ創価大では、昨年未だにTBS系ドラマ「下町ロケット」の撮影が行われていた。「ドラマは見えていなかったんですけど、本を読んだ。面白い」。中小企業・佃製作所の人々が挫折や困難を克服して、ひたむきな努力で大きな成功を成し遂げたように、田中も「正義ロケット」を作り上げるイメージを膨らませた。

神宮学生最速 157キロ超え視野

創価高時代に右肩痛で外野手に転向したが、恵まれた体格を見込まれて、大学で再び投手へ戻った。「大学から投手を再開して、3年しかたっていないので、ゴールは見えていない。どういう力持ちになるのか、今後経験を積んでいって見えてくると思う」。どこまで伸びていくのか、全球団が期待に胸を膨らませている。(坂本 達洋)

箱根駅伝総集編 350円 13日から発売

ドラフトの超目玉候補、創価大・田中が始動しキャッチボールなどで汗を流した(カメラ・佐々木 清勝)